

高石市教育委員会定例会会議録

(令和 6 年 8 月定例会 第 2 部)

開会及び閉会の年月日時

開	会	令和 6 年 8 月 7 日	午後 3 時 0 0 分
閉	会	令和 6 年 8 月 7 日	午後 6 時 3 0 分

会議に出席した者の職及び氏名

委 員	教 育 長 : 山 本 圭 作 委 員 : 佐 野 慶 子 委 員 : 西 村 陽 子 委 員 : 吉 村 文 一 委 員 : 西 村 朋 恵
事務局職員	教 育 部 長 : 石 坂 秀 樹 教育部次長 兼 教 育 総 務 課 長 : 神 志 那 隆 学 校 教 育 課 長 : 山 崎 陽 子 学 校 教 育 課 参 事 : 菅 原 庸 晴 学 校 教 育 課 長 代 理 : 山 川 喜 三 学 校 教 育 課 主 幹 : 橋 本 佳 人 学 校 教 育 課 主 幹 : 坂 本 修 仁 学 校 教 育 課 主 幹 : 新 家 久 美 子 学 校 教 育 課 主 幹 : 徳 野 聡 子 学 校 教 育 課 主 幹 : 佐 竹 な な 学校教育課 教育研究センター所長 : 黒 井 将 典

議題及び議事の要旨及び議決事項

・ 議案第 2 号 令和 7 年度使用高石市立中学校教科用図書採択について

学校教育課長	議案第 2 号「令和 7 年度使用高石市立中学校教科用図書採択について」説明します。 これは、令和 7 年度に高石市の生徒が使用します教科用図書について採択をいただきたく、教育委員会の議決を求めるものです。 中学校については、令和 6 年度末をもちまして、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 14 条及び同法施行令第 15 条第 1 項により示されています前回採択の教科用図書の使用期間を経過します。それに伴い、本市においても、令和 7 年度使用中学校教科用図書について採択替えを必要とします。 つきましては、十分ご審議を賜り、教科用図書の採択の決定をお願いするものです。
山本教育長	各委員においては、教育委員会事務局学校教育課並びに高石市立教育研究センターに教科用図書の見本本が展示されて以来、おのこの研究し、これまで理解を深めるための準備をしていただき、誠にありがとうございました。

	また、事務局に寄せられた保護者、市民の皆様の意見も聴かせていただいたところです。 これらを踏まえ、審議に当たって、委員の皆様と意見を交わしながら採択を決定していきたいと思います。 それでは、まず、選定に至る経過の説明を事務局よりお願いします。
教育部長	今回、選定委員会における選定委員長のほうを務めております教育部長の石坂です。以後、説明については、着座にて説明させていただきます。 それでは、選定に至る経過の説明をします。 令和7年度使用中学校教科用図書の調査及び研究については、高石市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会規則に基づき、本年4月より教科用図書の採択事務に取りかかったところです。小・中学校の校長2名、保護者2名、教育委員会事務局2名から成ります第1回選定委員会を5月24日に開催しました。 また、これに先立ち、5月9日に二市一町教科用図書選定資料作成委員会及び調査委員会を開催し、教科用図書採択に係る調査資料の作成に取りかかり、約1ヶ月半の調査を経て、報告書をまとめていただきました。 なお、この二市一町教科用図書選定資料作成委員会は、本市と泉大津市、忠岡町の共同で設置をしており、委員構成としては、選定資料作成委員に二市一町の中学校教頭及び教育委員会指導主事を任命し、選定資料作成のための調査員には、同じく二市一町の中学校の教諭を任命しました。 その後、7月4日に二市一町で令和7年度使用教科用図書選定資料報告会を開催し、教科用図書選定資料作成委員会の調査にもとづき、作成された報告書の説明を受けるとともに第2回選定委員会を開催し、選定資料報告会をもとに検討しました。 本日は、各委員からの質疑等について、選定委員長である私と選定委員会のメンバーである学校教育課長より、選定委員会の意見を教育委員会に報告します。よろしくお願いします。
山本教育長	続いて、教科書展示会の様子について、報告をお願いします。
学校教育課長	法令に基づき、高石市立教育研究センターで令和6年6月7日から令和6年7月17日に教科書展示会を行いました。高石市内8名、高石市外1名の方々が閲覧に来られました。
山本教育長	教科書採択については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号及び高石市教育委員会通則第2条第1項第7号の規定により、本市の児童・生徒の健全な育成に資するため、教育委員会としても、慎重な議論をし、適正な教科書を採択する重要な使命が課せられています。委員各位においては、今日まで研究を進めていただきました。さらに選定委員会からの報告を参考にしながら、慎重に審議を進めてまいりたいと考えています。よろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
山本教育長	それでは、まず、中学校の国語について審議をお願いします。 各教科書の特徴について、選定委員会からの意見ををお願いします。
教育部長	それでは、選定委員会の意見について、説明します 国語の各教科書の特徴としては、学習指導要領の「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する」このための工夫がされています。 「東京書籍」は、巻頭で領域別に色分けをし、教材や身につけたい

	言葉の力を掲載しています。また、「未来への扉」では、3領域の学習と関連させた未来を考えるための九つのテーマを示されており、巻末では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」、この補充学習ができる「資料編」と「言葉の力」の一覧が掲載をされています。 「三省堂」は、巻頭で領域別の教材や言葉の力を身につけるための学習の進め方が示されており、「思考の方法」では、思考の方法を手助けするチャートと使い方が例示されています。巻末では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の補充学習ができる「資料編」が掲載され、「読み方を学ぼう」で文章読解の方法が示されています。 「教育出版」は、巻頭の「言葉の地図」において、この教科書での学び方を紹介し、1年間で学ぶ内容と身に付けたい言葉の力がSDGsと関連付けて示されています。巻末では、言葉と文法の学習内容をまとめた「解説編」と「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の補充学習ができる「言葉の自習室」が掲載されています。 「光村図書」は、巻頭で領域別に色分けをして、教材と身に付けたい言葉の力を他教科・SDGsと関連付けて示され、「思考の地図」では、場面や目的に応じた思考法が紹介をされています。巻末では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の補充学習ができる資料や文章を読んだり豊かに表現したりするための「学びのカギ」一覧が掲載をされています。
佐野慶子委員	最近の子どもは、スマホの発達などにより、本を読まないと言われていますが、国語ではしっかりと読書力を身につけさせることが大事だと思っています。学習指導要領では、各学年の目標に「言葉の持つ価値に気づき、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う」と示しています。読書の大切さを述べられていますが、この観点から各社の取組みはどうなっていますか。
学校教育課長	読書の大切さ、各社述べられていました。 「東京書籍」では、「読書案内」のコーナーで「中学生におすすめの本」「世界を広げる本」などの様々なテーマで本を紹介し、読書に親しむことができるよう配慮されています。 「三省堂」では、「小さな図書館」というコーナーでテーマ別に書籍を紹介し、生徒が読書に親しむ工夫がされています。 「教育出版」は、单元ごとに、「広がる本の世界」で単元のキーワードと関連する図書を紹介し、読書の視野を広げる工夫がされています。 「光村図書」では、「広がる読書」のコーナーで単元と関連した書籍が取り上げられ、生徒の豊かな読書生活につながるように配慮されています。
西村朋恵委員	「東京書籍」と「教育出版」は、紹介しているページ数も多く、「読書に触れる」という点で生徒が豊かな読書生活をしていけるよう配慮している点がいいと思います。
西村陽子委員長	読書につながる教材ということで「東京書籍」は、「読書会の方法」でこんなふうに読書会をすればいいという具体的な方法が示されていたり、「三省堂」の「私が選ぶこの一文」や「光村図書」の「読書を楽しむ」などで読書に関連した活動の紹介が具体的にされているのは、すごく工夫されていていいかなと思います。
吉村文一委員	最近、ジェンダーや多様性が非常に重視されてきていると思いますが、国語の教科書において、人権的配慮に関しては、各社どのように

	工夫されていますか。
学校教育課長	人権の取扱いについて、各社、すべての生徒が使いやすく分かりやすいように配慮されています。 「東京書籍」は、登場するキャラクターが生徒への多様性の配慮がされていて、色以外での要素でも区別ができるようなデザイン、特別な明朝体を使用しています。 「三省堂」は、カラーユニバーサルデザインを使用し、読みやすい独自の書体で記載されています。 「教育出版」もカラーユニバーサルデザインや特別支援教育への配慮がされています。 「光村図書」もカラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザイン書体を使用しています。 各学年で情報に関わる単元が、「教育出版」は、各学年でメディアと表現に関わる教材として取り上げられています。
吉村文一委員	今、ユニバーサルデザインの話がありましたが、各社とも高白色の紙を避けて、目に優しいコントラストで作られているのがよく分かります。「光村図書」が特にクリーム色調が強くてコントラストが優しく、目が疲れにくいという印象を受けたので、その点はいいかなと思いました。
学校教育課長	「光村図書」は、教科書全般にいえることですが、特徴として、色合い、挿絵ともに優しい感じで扱いやすくなっています。
西村陽子委員	最近、教科書がだんだん分厚くなってきて、登下校の際の荷物の重さがとても気になりますが、各社とも重さ的にはどうなんですか。
学校教育課長	重さに関しては、各社、各教科書ともに同じぐらいで大差はありません。また、各学校において、持ち帰る教科書はその都度確認し、調整しています。
佐野慶子委員	今、生徒に1人1台のタブレットが配置されていると聞いていますが、このタブレットを十分活用するために教科書に二次元コードが示され、動画等のコンテンツが豊富に用意されていることが必要かなと思っています。どの教科でも、二次元コードを活用した資料を各社掲載するようになってきているようですが、国語に関してはどのようなになっていますか。
学校教育課長	佐野委員ご指摘のとおり、各社ともにそれぞれ多様なコンテンツがあります。 「東京書籍」は、授業中の言語活動や家庭での予習・復習での活用を想定したデジタルコンテンツとなっています。 「三省堂」は、学習の参考となる資料や動画での解説が閲覧できるコンテンツ、「教育出版」は、教材の補足資料や情報活用能力の育成を手助けするコンテンツ、「光村図書」は、学習の参考となる資料を閲覧できるコンテンツとなっています。 また、「東京書籍」「三省堂」「光村図書」は、巻末に二次元コード一覧表があり、そこから検索し、目的に応じたメニューを見つける形式がとられています。この4年間でデジタルコンテンツの数に差は、ほぼなくなっています。
西村朋恵委員	家庭学習のきっかけづくりという点では、「東京書籍」の家庭での予習・復習での活用を想定したデジタルコンテンツは、家庭で有効活用してほしいなと思いました。
佐野慶子委員	各教科書とも構成が分かりやすくなるように工夫されていると思いますが、構成の仕方、小学校、中学校との接続という点で各社の特徴についてはいかがですか。

学校教育課長	どの教科書も見通しを持って主体的に学習に取り組めるよう工夫されています。中でも「東京書籍」の中学校3年生の24ページに出てくる「てびき」には、生徒のイラストの問いかけを確認することで、生徒自ら課題を設定しやすい構成になっています。 また、先ほどご指摘のとおり小中の接続に関しても、小学校での既習事項と中学校での学習内容が接続できるように配慮されている構成となっています。
吉村文一委員	今、小中の接続の話が出ましたけれども、現在、小学校では「光村図書」の教科書を今年度から使っていると思うが、中学校も同じ会社でなくても小中ギャップを考えなくてもいいものですか。
学校教育課長	小学校から中学校への接続は、非常に大切な要素であります。同じように授業で使用する教科書も非常に大切で、学校で実際に授業を行う先生が使い慣れた教科書で授業することも、接続という観点で言えば大切になってきます。そのような点で、学校現場から「東京書籍」が接続の観点から使いにくいという意見は出ていません。
西村陽子委員	先ほどもありましたが、現行の学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びを日々の授業の中で実践することが重要な課題になっています。そういう意味では、各社、どの教科書もいろいろと工夫しているように思います。单元ごとに学習の目的が提示され、見通しを持つ・とらえる・読み深める・考えを持つ・振り返るといった学習の段階が示され、非常に生徒が主体的に学習を進めていくのに分かりやすくなっているのではないかと思います。ほかにこのような観点から見て、特に特徴のある教科書はありますか。
学校教育課長	「三省堂」は、「学びの道しるべ」というコーナーで单元を通した見通しの立て方が示されています。「教育出版」、「光村図書」も「学びナビ」「学びへの扉」でそれぞれ主体的に学ぶ見通しを示しています。その中で「東京書籍」の教材の冒頭にある「問いかけ」は、子ども自身が見通しを持って学習ができる、取り組めるという工夫として調査員の方々からは好評でした。
吉村文一委員	各教科書の特徴として、特に「東京書籍」は、多様性と共生社会ということで「ろう者」として生きるという読み物があり、こういうところは、やはり中学校の早い段階からこういう読み物、資料に触れるのは大変いいことだと思います。
佐野慶子委員	国語は、まず「読む」ものなので、教材がよければ、それがとてもよい影響を与えてくれると思います。そういう点では、「東京書籍」は教科書を読めばよく分かるよう工夫されていると思います。自学自習にも役立つ構成になっているので、主体的に学ぶという観点から家庭学習が重要となる状況にも合致していると思います。
山本教育長	これまでの意見をまとめますと、「東京書籍」の教科用図書の採択が適切であるようですが、ほかに意見はありませんか。
各委員	なし。
山本教育長	それでは、国語についてお諮りします。 ただいまの質疑、報告を踏まえ、中学校国語の教科用図書は、「東京書籍」の教科用図書を採択することに異議ありませんか。
各委員	異議なし。
山本教育長	それでは、中学校国語の教科用図書は、「東京書籍」の「新しい国語」に決定します。 次に、書写について審議をお願いします。 各社の教科書の特徴について、選定委員会からの意見をお願いします。

教育部長	書写について、説明します。 どの教科書も、書く姿勢や用具の使い方など基本的なことは、イラストを駆使して取り組みやすくしています。 「東京書籍」は、字形、文字の大きさ、配列などを学ぶことができるためのポイント「書写のかぎ」を核とした課題解決型の学習過程で確かな基礎の習得と生活への活用力育成を図っています。 「三省堂」は、「書き方を学ぼう」のところで目標と振り返りが設定されており、書き方のポイントを提示し、どこに気をつけてどのように書けばよいか、筆使い等、例を示しながら一目で分かるよう工夫されています。 「教育出版」は、学習内容や手順を明確化しています。また、話し合いを通した学び方で話し合いのポイントを例示して、主体的に学べるよう構成されています。 「光村図書」は、「学習の進め方」によって見通しを持って主体的に学べるようになっていきます。硬筆練習帳の「書写ブック」で硬筆・毛筆の関連を図り、確かな「書く力」を育むよう構成されています。
西村陽子委員	小学校の書写の教科書では、左利きの児童への配慮が大きく取り上げられていたのが印象的でしたが、中学校の教科書においては、どのように扱われていますか。
学校教育課長	各社ともに小学校の書写ほど扱っていないですが、各社ガイダンスのほうで触れています。
西村陽子委員	いろいろ教科書を見てみますと、「東京書籍」では、「書写のかぎ」というコーナーがあって、それぞれ書き方のポイントが示されているのがすごい分かりやすいと思いました。ほかの各社ではどうでしょうか。
学校教育課長	そのほかの教科書では、「教育出版」は、「書き方のポイント」で大きさや配列について示されています。 また、「光村図書」にも、「学びのカギ」で書く時のポイントが示されています。
西村朋恵委員	「光村図書」は、別冊書写ブックで硬筆の学習に取り組むやすくする工夫もされているのが特徴的だなと思いました。硬筆を分冊にすることで内容をまとめてあり、硬筆の練習などにも配慮されているのがいいと思いました。
吉村文一委員	今日、デジタル化が進む中でも手書きのよさや手紙のよさも大切だと思いますが、各社、書写で学んだことを生活で活かすことができる書体、フォントの使い分けという面ではどういう工夫がされていますか。
学校教育課長	「東京書籍」「光村図書」「三省堂」では、楷書と行書の使い分けという単元があります。また、「東京書籍」の「生活に広げよう」では、フォントの大きさの使い分けに触れたり、巻末の「書写活用ブック」で書体やフォントの使い分け方が示されています。「光村図書」も「学びのカギ」で、書体やフォントの使い分けをクイズ形式で示されています。
西村陽子委員	手紙を書くということもすごい大切にしていきたいと思うわけですが、そういう意味では、各社とも封筒やはがきの書き方についての記載とか時候の挨拶例なども載っています。「東京書籍」の「書写活用ブック」は、いろんな様式についての記載が充実していますし、書き方の工夫や書き方のポイントなども充実しているので、ふだんの生活の中で生かしていくのにすごく役立つと思いました。
佐野慶子委員	私も、「東京書籍」の「文字の役割」は、現代につながる文字の役

	割というところですが、文字離れが進む中、文字の歴史について掲載されています。文字の役割について学ぶ機会があるのがとてもいいと思います。
西村朋恵委員	「東京書籍」は、「自分のノートを見直す」という内容があり、タブレットの活用が進む中で先ほど他の委員さんとも言われてましたが、手書きのよさというところで効果的なノートの書き方につながるのが非常にいいと思いました。
吉村文一委員	先ほどの国語の採択では「東京書籍」が選ばれましたが、同じ「東京書籍」であれば、教科書で出てくる言葉や漢字がそのまま書写でも出てくることもあって、より使いやすいと思いますので、書写も「東京書籍」がいいのではないかと書写と国語の教科書を見比べたときに思いました。
山本教育長	これまでの意見をまとめますと「東京書籍」の教科用図書の採択が適切であるようですが、ほかに意見はありませんか。
各委員	なし。
山本教育長	それでは、書写についてお諮りします。 ただいまの報告、質疑を踏まえ、中学校書写の教科用図書は、「東京書籍」の教科用図書を採択することに異議ありませんか。
各委員	異議なし。
山本教育長	それでは、中学校書写の教科用図書は、「東京書籍」の「新しい書写」に決定します。 次に、中学校の社会地理的分野について、審議をお願いします。 各社の教科書の特徴について、選定委員会からの意見をお願いします。
教育部長	社会の地理的分野について、説明します。 各社とも、学習指導要領の「社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する」ことを目指して構成されています。 「東京書籍」は、「導入の活動」で単元全体を貫く「探究課題」を立て、1単位時間ごとに「学習課題」を解決し、思考ツールを使った「まとめの活動」で「探究課題」を解決するという学習の流れで構成されています。 「教育出版」は、導入部で「学習の見通し」や「見方・考え方」を提示し、学習の見通しが立てやすく、各章末での「学習のまとめと表現」では、基礎・基本の定着や意見をまとめて表現し、話し合う活動を行い、段階的に学習が進められるよう工夫されています。 「帝国書院」は、章・節・各本文ページそれぞれの冒頭に「単元を貫く問い」というものが設けられており、学習の見通し、振り返り活動の基本的な流れが示され、見通しを持った学習活動につながるよう工夫されています。 「日本文教出版」は、単元を貫く「問い」を立て、1単位時間ごとに「学習課題」を解決し、単元の終わりには「まとめと振り返り」が設けられ、基礎・基本の定着と学習内容を深められるような構成が工夫されています。
佐野慶子委員	各社とも、学習指導要領を意識して、巻頭で学び方を示しています。中でも「東京書籍」は、巻頭に「世界の食事」を載せることによって、生徒の興味関心が持てるように工夫されていますが、ほかの教科書はどのような工夫をされていますか。

学校教育課長	学び方の工夫としては、「教育出版」は、巻頭に「地理の学習を始める前に当たって」というところで学習の進め方が取り上げられており、生徒が主体的に取り組めるように工夫されています。また、SDGsにも触れています。 「帝国書院」「日本文教出版」は、両社ともに巻頭でSDGsが大きく取り上げられ、世界で取り組んでいる持続可能な社会についてまとめられており、生徒の興味を引く工夫がされています。 「帝国書院」に関しては、学習で結構オーソドックスなところが、「思考ツール」を活用して、考えを整理する方法を具体的に示されており、学びを深める手だてを掲載されています。
西村陽子委員	今、課長から説明があったように、やはり始めるに当たって何をどのように学んでいくのかということが提示されるようになってきていると思いますが、「教育出版」は、巻頭に地理の学習を始めるに当たっての説明が分かりやすく掲載されていましたし、「日本文教出版」は、同じように巻頭に地理的な見方・考え方ということで日常生活に即した具体的な例を挙げながら示しているのも特徴的なのかなと思いました。
吉村文一委員	各社とも学習指導要領の趣旨に沿って巻頭に学び方を示しながら、主体的・対話的で深い学びが実現できるように配慮されていると思います。特に、「帝国書院」は、各章の初めに二次元コードの活用についてページの半分ぐらいを活用して、主体的に学習できるように工夫されているのがよいところではないかなと思いました。
西村朋恵委員	各教科書が学び方について、わかりやすく説明しているところはよくわかりました。それぞれの工夫が生徒たちの興味・関心を引きつけかけになっていると感じました。より深く学ぶ手立てはどのようになっていますか。
学校教育課長	より深く学ぶ手立てとしては、「東京書籍」は、各単元で「もっと知りたい」というところで違う視点で捉えることができるコラムが掲載されており、考えをさらに深めたり広げたりできる工夫がされています。「教育出版」は、単元ごとに「確認！」で、その時間で学習したことを振り返り、まとめる項目が深い学びにつなげる工夫がされています。また、「帝国書院」は、「確認しよう、説明しよう」のコラムの中で、見開き全体の学習内容を見通せることができます。「日本文教出版」にも、見開き全体の確認で活用する「確認・表現」があり、確かめの問いがあります。どの教科書も、まとめ、振り返りには非常に工夫がされています。
吉村文一委員	興味を引くということでは、地理的に高石市は海が近く、ハザードマップを活用など、防災に関して意識しないといけないところが大切だと思いますが、各社、防災についてはどの程度触れられていますか。
学校教育課長	防災については、各社、非常に力を入れておられます。 「東京書籍」は、「スキル・アップ」のところで様々なハザードマップを読み取ろうと教材で触れられています。「日本文教出版」にも、ハザードマップを活用しようということが掲載をされています。 「教育出版」は、ちょっと面白い視点だなと思いました。防災倉庫の紹介、「帝国書院」は、ハザードマップを使って避難先を考えようということで防災の関係の内容が掲載をされています。各社ともに防災教育には、思考を凝らして掲載されています。
吉村文一委員	今、説明のあったようにハザードマップの活用という点で授業中にぜひ高石市のハザードマップも示しながら同時に授業できたら、非常

	に実りのある授業ができるのではないかと思います。 それと他の点では、「帝国書院」は、「自然災害から命を守ろう」という項目は、生徒自身がワークショップの中で自然災害の危険を考えることができるようになっていて、各生徒が自分ごととして考えるいい機会になりそうなので、非常にいい項目だと思います。
山本教育長	生徒の興味・関心を高めるような二次元コードの取扱いについては、各社どのようなになっていますか。
学校教育課長	デジタルコンテンツも含め、二次元コードの取扱いについては、各社とも力を入れています。 「教育出版」は、二次元コードから資料の収集に役立つウェブサイトには直接アクセスできるようになっており、調べ学習や学びを深める場合に有効となっています。「日本文教出版」は、動画や確認小テストのページにつながり、振り返りに役立つコンテンツとなっています。「帝国書院」は、巻頭に二次元コードの一覧とトップ画面を掲載されており、生徒が興味を持ってアクセスしやすい工夫がされています。
佐野慶子委員	写真やイラストに関しては、各社、見やすくなってきました。 特に「帝国書院」の地図がきれいで見やすくなっていると感じています。同じ近畿地方の地図を調べても、地図の色が鮮やかで見やすいと思います。また、212ページの近畿地方の振り返りを見ても、地方の説明がしっかりと地図の中に矢印が入っているので、これは非常に地理の理解に役立つと感じました。
吉村文一委員	「帝国書院」の「日本の諸地域」で各地方の導入部分でイラストが入っている地図があり、今からこの地方の学習だと非常に分かりやすくなっています。次の項目に実際の写真が載っているという順番になっていて、地方の学習に非常に入っていきやすく、すんなりと学習の流れがつかれるという点ではいいと思いました。
西村朋恵委員	佐野委員や吉村委員の意見にもありましたけれども、地図や写真が見やすいというところで、「帝国書院」に関しては、写真が見やすいと思いました。これは個人差があるかもしれませんが、巻末の世界の主な農産物を見ますと、写真の緑が鮮やかに見えます。また、その写真の説明文も読みやすい色合いになっていると思いました。
西村陽子委員	先ほど二次元コードの話も出ていましたが、「帝国書院」では、巻末の事項の索引ですが、二次元コードの用語解説で掲載している語を色別で区分しているのが生徒たちにとっては、検索して自分で調べという意味で非常に使いやすく工夫されていると思いました。
山本教育長	これまでの皆様の意見をまとめますと、「帝国書院」の教科用図書の採択が適切であるようですが、ほかに意見等ありませんか。
各委員	なし。
山本教育長	それでは、社会地理的分野についてお諮りします。 ただいまの質問、報告を踏まえ、中学校地理の教科用図書は、「帝国書院」の教科用図書を採択することに異議ありませんか。
各委員	異議なし。
山本教育長	それでは、中学校社会科地理的分野の教科用図書は、「帝国書院」の「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」に決定します。 次に、中学校地図について審議をお願いします。 各社の教科書の特徴について、選定委員会からの意見ををお願いします。
教育部長	中学校地図について、説明します。 地図についても、2社ともに先ほどの地理と同様、学習指導要領の

	「社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する」ために、各社工夫をされています。 「東京書籍」は、判型をA4版とし、広い範囲の地図を大きく表示するなど、多くの情報を掲載できるよう工夫されています。 「帝国書院」は、大判の紙面により、各州の地域的特色を大観したり、他州や他地域とのつながりを捉えやすくしたりする工夫がされています。
吉村文一委員	地図は、2社ですけれども、世界や日本を多面的・多角的に考えることが大切だと思いますが、この点の工夫については、どうなっていますか。
学校教育課長	「東京書籍」は、世界全体の概観から世界の各州、日本の各地方、世界や日本全体の資料、統計の順に配置されています。また、地域の概観に役立つ自然、産業、人口などの主題図が共通して掲載されており、基礎的、基本的な知識の習得がしやすい配置となっています。 また、「帝国書院」は、世界への関心が高められる州別の俯瞰図が掲載されており、その俯瞰図に親しみやすいイラストで様々な特色を視覚的に読み取ることができる工夫がなされています。
西村朋恵委員	どちらの地図帳にも3Dのような地図がついているのは、確かに多角的に地図を考える上で扱いやすいと思います。さらに「帝国書院」は、その地図にも民族や文化が分かりやすいイラストで掲載されているので、生徒にとっては視覚的に扱いやすいと感じました。
吉村文一委員	「東京書籍」は、雑学的な情報が多く載っていて、資料集的なところがいいという話がありましたが、今回の教科書を見ても、情報量が多いという印象があります。その辺は、前回と変わってないような印象を受けています。
佐野慶子委員	地図帳は、地理的分野の資料として扱うことが多いと思いますが、地図帳から主体的に学べる工夫は、2社どのようにされていますか。
学校教育課長	2社ともそのあたりは工夫されています。 「東京書籍」は、デジタル地球儀、世界の気候景観など、生徒の興味・関心を高める二次元コードが用意されています。 「帝国書院」は、随所に「地図で発見！」のコーナーが設置され、学習に取組やすい工夫がされています。
吉村文一委員	地図帳なので、やはり視覚的な支援が非常に重要になってくると思います。その点で「東京書籍」は、A4判に改訂されて、見やすいと感じました。そのほかに、視覚的な部分に関してどのような工夫がされていますか。
学校教育課長	「東京書籍」は、紙面がA4判になったことで広範囲の地図が大きく、見やすくなっています。また、地図帳内で関連する図版を併せて見ることでスケールを変えて事象を捉えたり、発見できたりするような視覚的工夫もされています。 「帝国書院」は、各地域の資料図が、比較を通して地域の特徴が考察できるよう縮尺が統一されて掲載されていますので、比較するには非常に見やすい資料となっています。
西村陽子委員	どちらの地図帳も大きくなって、とても見やすくなっていると思います。ただ、両方を見比べてみると、やはり「帝国書院」のほうが色のコントラストが見やすい印象が非常に強いです。
西村朋恵委員	「帝国書院」は、巻頭に7ページにわたって持続可能な社会SDG

	s が掲載されていて、現代の世界的な諸課題に興味・関心が持てることと思います。
佐野慶子委員	私も、どちらの地図帳も大変使いやすいものになっていますけれども、「帝国書院」のほうの色合いが鮮やかに見えますし、地形の高さもはっきり分かりやすい色合いかなと思います。
西村陽子委員	やはり地理的分野の授業で一緒に使うことがあるわけですから、できれば地理的分野の教科書とセットになっている方が、関連性もありますし、より使いやすくいいかなと思います。
山本教育長	これまでの意見をまとめますと、「帝国書院」の地図の採択が適切であるようですが、ほかに意見等ありませんか。
各委員	なし。
山本教育長	それでは、地図についてお諮りします。 ただいまの報告、質疑を踏まえ、中学校地図の教科用図書は、「帝国書院」の地図を採択することに異議ありませんか。
各委員	異議なし。
山本教育長	それでは、中学校地図の教科用図書は、「帝国書院」の「中学校社会科地図」に決定します。 次に、中学校の社会歴史的分野について、審議をお願いします。 各教科書の特徴について、選定委員会からの意見ををお願いします。
教育部長	社会の歴史的分野について、説明します。 歴史的分野についても、各社とも、学習指導要領の「社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する」ことを工夫して構成されています。 「東京書籍」は、1単位のまとめ「チェック&トライ」で学習内容の説明や要約ができるように設問の工夫がされており、自分の言葉で表現できる工夫がされています。 「教育出版」は、1単位時間の中に「確認！」という項目が設けてあり、学習に必要な知識を身につけやすくなる工夫がされています。 「帝国書院」は、「地域史」というコラムを通じて、多面的、多角的に歴史を学ぶ工夫がされています。また、「解説」が設けられており、知識の定着のための工夫がされています。 「山川出版」は、見開きのページ内に様々なパターンの発問を提示し、図やグラフ等資料を活用して考察させ、生徒の主体的な学びを促す工夫がされています。 「日本文教出版」は、見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、「確認」、「表現」といった構成になっており、「確認」と「表現」では考えを説明させる問いが示されています。 「育鵬社」は、見開きを1単位時間として、導入資料、学習課題、本文、学習のまとめで構成をされています。資料活用のコラムもあり、知識を深める工夫がされています。 「令和書籍」は、巻末に資料がまとめられていることで時代による地域の変化や芸術作品の違い等が把握しやすくなるよう工夫されています。 なお、「自由社」及び「学び舎」は、調査研究用の見本本が十分配布をされていませんでしたので、二市一町教科用図書選定資料作成委員会、また、高石市選定委員会での採択に必要な調査・研究ができなかったことを申し添えます。
西村朋恵委員	歴史的事項の取扱いについて、発達段階に応じた接続については各

	社どのような工夫が見られますか。
学校教育課長	「東京書籍」は、各時代の導入に小学校の振り返りとグループでの協働的な活動が設けられ、単元全体を貫く「探求課題」を立てて、学習に見通しをもたせるように工夫されています。 「教育出版」は、高等学校での近現代史中心の「歴史総合」に向けて通史学習の充実が図られており、小・中・高等学校の学びの接続が意識されています。 「帝国書院」は、章のはじめに設けられた「タイムトラベル」というところでは、小学校で学んだ主な出来事を再度確認でき、資料から判断して論理的に説明ができるよう工夫されています。 「山川出版」は、高等学校の歴史学習とのつながりを意識して、歴史的事象の要因と結果を詳細に記述され、コラムと合わせて、より深い理解ができるように工夫されています。
佐野慶子委員	単元を貫く「探究的な課題」は、「帝国書院」にもあります。このように見通しを持って学習に取り組むことは、授業の計画を立てるうえで非常に大切だと思います。
吉村文一委員	復習という意味で、「東京書籍」は、各時代の導入に当たる「小学校の社会で習ったことば」という項目がありますし、「帝国書院」では「タイムトラベル」というのがあり、今まで習得した事項を確認するうえで非常に有効だと思います。一度学習した内容をより詳しく学習する、進化させるという観点では、生徒が非常に取り組みやすいと思います。
西村陽子委員	学習の見通しの立てやすさとか取り組みやすさという点では、ほかの教科書ではどのような工夫がされていますか。
学校教育課長	各社とも、配列や展開は、非常に工夫をされています。 「東京書籍」は、各章ごとに「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」というステップが構成されており、それを基に学習を進められるよう工夫されています。また、「主体的・対話的な学びから深い学びにつなげる活動・コーナー」等で学習を深めることができるよう配慮されています。 「教育出版」は、1単位時間の中に「確認！」が設けてあり、学習に必要な知識を身につけやすくなる工夫がされており、教科書全体を通して、見通し、振り返りの学習活動に非常に取り組みやすい内容となっています。 「帝国書院」は、「地域史」というコラムがあり、そこに多面的・多角的に歴史を学ぶ工夫が掲載されています。また、「解説」が設定をされていますので、知識の定着のための工夫も併せてされています。 「山川出版」は、見開きのページ内に様々なパターンの発問が提示をされており、図やグラフ等資料を活用して考察させ、生徒の主体的な学びを促す工夫がされています。 「日本文教出版」は、各章の振り返りでは、STEP 1から3と分けられていて、思考ツールを活用することで思考、判断、表現を子どもたちができるよう工夫されています。 「育鵬社」は、教科書全体を通して、問題解決型の学習を実現する構成になっています。1時間の授業や単元の流れの中で「課題をつかむ」「課題について調べる」「課題についてまとめる・表現する」という流れが示されており、主体的・対話的な学びを通して学習の定着が図られるよう配慮されています。 「令和書籍」は、歴史の連続性が実感できるように配慮がされてお

	り、また、縦書きを採用しているので、教科書として歴史の真理を追い求める姿勢を育成する視点と読書をするような感覚で歴史を楽しく学びができるような構成がされており、様々なアプローチで歴史を捉えることができるよう配慮されています。
西村朋恵委員	「教育出版」の1時間単位に載っている「確認！」は、1時間1時間の学習が振り返りやすく感じます。「育鵬社」も1時間の授業や単元の流れで「課題をつかむ」「課題について調べる」「課題についてまとめる・表現する」という流れが示されているのが見通しを立てやすくしていると思いました。
吉村文一委員	「帝国書院」でも各単元末に「確認しよう」が載っています。各社、同様に工夫されているのを見てとれると思います。
西村朋恵委員	ほかにも「教育出版」「育鵬社」の巻頭、「歴史上の人物」は、今まで登場してきた人物の復習にいいと思いました。特に、「育鵬社」のイラストは分かりやすくなっています。
佐野慶子委員	「東京書籍」「日本文教出版」「帝国書院」の教科書の端に書かれている時代の目盛りは、長い歴史の中で今学習している時代がどのあたりなのか一目で分かるので、歴史の流れで確認でき、振り返りなど学ぶのに適していると思います。
西村陽子委員	確かにいろいろ工夫が凝らされていると思いますが、学習の連携を図るという意味では、「教育出版」の「歴史を探ろう」という特設のページで地理・公民分野との関連を示すマークがつけられたりしていると思います。
佐野慶子委員	「帝国書院」は、全体を通して「小学校・地理・公民・他教科の関係」を「小・地・公の関連アイコン」で示すことで今まで習った事項やつながりを確認できると思います。また、その時代の舞台の解説や現在との共通点や違いを確認できるので、多面的・多角的な視点をもって学習に入ることができるように配慮されていると思います。
西村朋恵委員	視点の話がありましたが、「帝国書院」は、地図資料が豊富で色遣いが鮮やかで情報量も多く、世界史の内容もイラストで分かりやすくなっており、地図から読み取れる情報が多種であるなどよく工夫されていて、生徒たちが学びやすいと思いました。
吉村文一委員	「帝国書院」は、各単元に「タイムトラベル」や「技能をみがく」という項目があって、当時の人々の立場や歴史的な背景を踏まえて、当時の人々の考え方の意図を読み解くということが非常にしやすくなっていて、興味・関心に応じた多様な学習が行える工夫が見てとれると思います。
山本教育長	これまでの意見をまとめますと、「帝国書院」の教科用図書の採択が適切であるようなが、ほかに意見等ありませんか。
各委員	なし。
山本教育長	それでは、社会歴史的分野についてお諮りします。 ただいまの質疑、報告を踏まえ、中学校社会歴史的分野の教科用図書は、「帝国書院」の教科用図書を採択することに異議ありませんか。
各委員	異議なし。
山本教育長	それでは、中学校社会歴史的分野の教科用図書は、帝国書院の「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」に決定します。 次に、中学校社会公民的分野について、審議をお願いします。 教科書の特徴について、選定委員会からの意見ををお願いします。
教育部長	各教科書の特徴を説明します。 この分野についても、各社とも、学習指導要領の「現代社会の見

	方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する」ための工夫がされています。 「東京書籍」は、「単元の構成」で課題解決的な学習のプロセスが可視化されており、学習課題、本文、資料、チェック&トライなど、紙面の要素を定位置に配置することにより1時間の学習の流れが分かりやすい工夫がされています。 「教育出版」は、各章の学習の初めに課題を捉え、見通しを立て、課題解決的な学習を積み重ね、まとめの学習で振り返り、考察する流れをつくっています。 「帝国書院」は、単元の初めにイラストを読み解く学習活動を通して単元の学びを見通し、単元のまとめで思考ツールや「対話的な学び」を通して、節の問いや章の問いに取り組んでおり、単元の学習を振り返る流れとなっています。 「日本文教出版」は、構造的に「章の問い」や「節の問い」が設定されており、その回答を行うコーナーやページがあり、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されています。 「育鵬社」は、各章の導入で学習内容の趣旨を捉え、章末には、その章で学習した内容を踏まえて、課題解決的な学習に取り組む工夫や問題解決できるような課題設定と1時間で資料を効果的に使えるような工夫がされています。
西村陽子委員	「東京書籍」では、それぞれ見開き2ページの下のところにチェックといって、その授業の内容を抜き出しましょう、トライということでその授業で学んだことを自分で説明しましょうというのが、全部載っており、思考力、判断力、表現力がこれを使うことによって高められるような工夫だなと思いました。
吉村文一委員	「帝国書院」の「アクティブ公民」では、ディスカッションをしたり、ロールプレイング等の手法を用いて、主体的・対話的で深い学びが実践できるし、技能の定着が図れるよう非常に工夫されていると思います。
佐野慶子委員	「日本文教出版」の「アクティビティ」というコーナーでは、人権等を取り上げ、深く考えることができるように工夫されていると思います。また、「シンキングツールマーク」では、具体的な課題を設定して取り組みやすくなっているので、思考力・自分の考え・判断力・表現力をつけられるように工夫されていると思います。
西村朋恵委員	公民的分野は、持続可能な社会との連携が不可欠と思いますが、各教科書のSDGsとの関連はどのようになっていますか。
学校教育課長	各社ともに巻頭でSDGsに関するページを設けています。 「教育出版」は、学習内容を深化させるために「公民の窓」「SDGs」と関連づけて特設ページ等が設定されています。 「帝国書院」も、学習内容を深化させるために「公民プラス」やSDGsへの意識を高める「未来に向けて」等が設定をされています。 「日本文教出版」は、SDGsマークを関連する内容の箇所に記載しており、関連づけをされています。 そのほか、各社ともにSDGs関連は、非常に多く取扱いされています。
西村陽子委員	成年年齢が18歳に引き下げられたわけですが、これに関する取扱いは、各教科書どのようになっていますか。
学校教育課長	各社ともに選挙や社会のルールという単元で扱いされています。

	「東京書籍」は、18歳へのステップ、18歳でできること、二十歳でできることというところで、イラストつきで大きく掲載されており、さらに、クイズ形式で関心を向ける工夫もされています。
西村陽子委員	選挙とかという点では、各社取り扱われていると思いますが、18歳、成年年齢になりますと未成年者取消権が使えなくなるということがあります。そういった消費者の権利や保護という観点からいいますと、「日本文教出版」では、私たちの社会参画ということで18歳になれば保護者の同意がなくても契約が結べるようになり、自立した消費者として「契約について」見開き2ページで詳しく取り扱っています。これは、とてもいいと思いました。
佐野慶子委員	地理や公民、他教科といったところとの関連について、どのようになっていますか。
学校教育課長	「東京書籍」は、「分野関連マーク」を活用し、地理的分野・歴史的分野の既習事項と特につなぐりの強い内容を関連づけて考えることができるよう工夫されています。 「帝国書院」は、「小学校・地理・歴史を振り返る」というところがあり、地理的分野、歴史的分野だけではなくて、小学校の既習事項も関連づけをされており、非常に工夫されています。 「日本文教出版」は、巻頭に「地理・歴史とのつながり」を設け、公民的分野への興味・関心へとつなげています。また、見開きの右下に「連携コーナー」があり、主に地理・歴史の学習とのつながりを示して関連づけて考えることができるように工夫されています。 「教育出版」は、見開きの右下に、小学校・他分野・他教科との関連が掲載されており、いろいろな視点から関連づけて考えることができるよう工夫されています。
西村朋恵委員	地理のときにも話題に上がりましたが、防災や災害に関して、「帝国書院」は、防災マークが記載されていますし、「日本文教出版」の102ページでは、「私たちの社会参画」で見開き1ページ使って防災に関して扱われていて、「自助・共助・公助」や実際の中学生の行動が紹介されているところが、災害への意識が高まりそうだなと思いました。
山本教育長	「地球環境問題」とか「情報モラル」というようなことで「現代の社会的事象」は、様々ありますけれども、これについての取扱いはどうなっていますか。
学校教育課長	「地球環境問題」「資源・エネルギー問題」や「情報を活用する力や情報モラル」については、やはり、今日、世界的な問題となっていますので、各社ともに取扱いに大きな差はありません。
吉村文一委員	各教科書を見ていて、「日本文教出版」は、「町のバリアフリーを探そう」で大阪府堺市が紹介されています。近隣の市が出ているというのは、この教科書ぐらいでやっぱり親近感が湧きます。このように「日本文教出版」の社会参画や社会の課題に取り組むページというのが、実際に中学生が今後の社会に対して、どのように関わっていけるかを考えられるきっかけになるページになっていて、具体的に社会問題を考えられる工夫が見られて非常にいいと思いました。
山本教育長	これまでの意見をまとめますと、「日本文教出版」の教科用図書の採択が適切であるようなが、ほかに意見はありませんか。
各委員	なし。
山本教育長	それでは、公民的分野について、お諮りします。 ただいまの質疑、報告を踏まえ、中学校社会公民的分野の教科用図書は、日本文教出版の教科用図書を採択することに異議ありません

	か。
各委員	異議なし。
山本教育長	それでは、中学校社会公民的分野の教科用図書は、「日本文教出版」の「中学社会 公民的分野」に決定します。
	(休憩)
山本教育長	それでは、審議を再開します。 次に、中学校数学について、審議をお願いいたします。 各教科書の特徴について、選定委員会からの意見ををお願いします。
教育部長	各教科書の特徴について、説明します。 各社とも、学習指導要領の「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成すること」について、よく工夫されています。 「東京書籍」は、小中接続を意図した「1年0章」、日常と結びついた導入や問題発見・解決を重視した「深い学び」で主体的・対話的で深い学びを支援されています。 「大日本図書」は、算数と数学の違いや数学を学ぶ意義について触れることができる内容や数学の学習の仕方について、「数学の世界へようこそ」というところで明記されています。 「学校図書」は、基礎的・基本的な内容の定着を図るための時間を取ることができるよう工夫され、章の初めに小学校で学んだことに触れており、算数とのつながりを明確にされています。 「教育出版」は、章ごとに小学校の既習事項の確認、節末の「基本の問題」、章末の「学習のまとめ」「章の問題」「学んだことを活用しよう」というような配列をされており、学習効果が上がるよう配慮されています。 「啓林館」は、巻頭に「説明しよう」「話し合おう」「まとめよう」などの表現活動の場面が設定されており、対話的な学習を通して思考力・判断力・表現力などを育むことができるような工夫をされています。 「数研出版」は、巻頭にノートを取り方や導入から活用まで「Q」や「TRY」を中心にした学習動機が得られるように工夫されています。 「日本文教出版」は、巻頭に学びに向かう態度とコラム、章初めに算数の振り返りを掲載しており、段階的に学習に向かうような工夫がされています。
佐野慶子委員	数学は学習するうえで、特に「基礎・基本の定着」が大切だと思っています。この「基礎・基本の定着」について、各教科書はどのような工夫がされていますか。
学校教育課長	数学は、特に基礎・基本が定着していないと「つまずきの原因」となり、数学嫌いを生むようなことになりかねないと考えています。 これについては、各社とも本当に力を入れておられ、生徒が一律に学習する基礎的な問題、学習内容をさらに深めるための発展的な問題の両方が掲載されています。 「東京書籍」は、章の導入に主体的な学びのために「章とびら」や「Q」「学習課題」が設けられています。また、章末には、章の基本的な学習内容を確認するための「章の問題」が設定されています。 「大日本図書」は、各章に1箇所ずつ問題発見、問題解決の流れが示されています。本文や章の終わりには、家庭学習に取り組めるように「力をのばそう」「活用・探求」「社会にリンク」などが設けられています。

	「学校図書」は、各領域の初めに既習事項をまとめた「ふりかえり」のページがあり、章の学習の中に「どんなことがわかったかな」が適宜設けられ、これまでの学習のまとめが示されています。 「教育出版」は、章の初めに既習事項を振り返る「学習する前に」のページで章の学習の中に学習のプロセスのページが適宜設けられており、問題を見いだして解決し、振り返るプロセスが示されています。 「啓林館」は、各節に「学習のとびら」（導入課題）を設け、主体的・対話的で深い学びのため、言語活動のコーナーを設け、「説明しよう」「話し合おう」が掲載されています。 「数研出版」は、章の初めに既習事項をまとめた「ふりかえり」のページが設定されています。 「日本文教出版」は、單元ごとに「例」が細かく設定されており、生徒が一律に基礎基本を学習するとともに、関連する様々な形の問題が掲載されており、学習することに対してスムーズに行うことができる内容になっています。
西村朋恵委員	学習指導要領の目標には、「数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養う」とありますが、数学を好きになるような工夫として、基本的に各社とも「目標」「例」「たしかめ」「問」「基本の問題」というサイクルが確立されており、基本的な学習の定着を図ることができるようになっているように思いました。
西村陽子委員	そのほかに数学の楽しさを実感できるような工夫は各教科書どういふのがありますか。
学校教育課長	「東京書籍」は、基本問題にハートマーク、やや難しい問題には星マークをつけるなど主体的に取り組める工夫がされています。 「大日本図書」は、章の初めに惹きつける内容の課題がイラストを使って掲載されています。 「学校図書」は、3年生の教科書において、高校で学ぶ数学の内容を掲載し、興味関心を持つような工夫がされています。 「教育出版」は、例と問いの間に類似した問題「確かめ」が設定されており、数学に苦手意識を持つ子どもたちも喜びを感じるようなスモールステップで学習ができるよう工夫されています。 「啓林館」は、比較的イラストを多く取り扱うことによって、子どもたちが数学に向かう姿勢が養われる工夫がされています。 「数研出版」は、「解答例」が生徒の手書きのようなフォントにされており、目を引くような工夫がされています。 「日本文教出版」は、初出用語に関する説明の背景に色をつけて、目立つようにデザインすることで生徒が理解しやすくなるような工夫がされています。
佐野慶子委員	数学を学習する楽しさ、数学の良さを実感として感じるということは、学ぼうえでまた動機づけとして、とても大切なものだと思います。こういう観点から見てみますと「啓林館」は、説明資料など各章の初めに課題設定に当たって生徒の身近にある問題を取り上げ、それを解決する活動を通して本題に入っているのが大変よいと思いました。
吉村文一委員	「日本文教出版」のデータ活用・統計・確率の指導で、生徒に身近な天気や気温の問題、1年生の「データの活用」や2年生の「データの比較」というところで平均気温や猛暑日の日数を取り上げて、データの収集・整理等を通して数学的な概念や表現・処理の仕方を学ばせ

	ようとしている構成は、猛暑日が何日続いた、最高気温が何度という非常に今の時代にマッチした温暖化の観点にも触れていて、興味を持つわかりやすくよい内容だと思います。
西村朋恵委員	「東京書籍」は、「社会につながる」で各学年の巻頭にアイコンが示されています。「大日本図書」も1年生の「社会にリンク」というコラムがあります。「教育出版」も1年生の「章のとびら」で日常生活に関わりのある内容を扱っているのがいいと思いました。
吉村文一委員	数学の授業でも生徒たちが話し合ったりする「言語活動」が大変大切になってくると思いますが、この点については「啓林館」は、「説明しよう」「話し合おう」という項目がまずあって、章末の「まとめよう」へとつなげるような流れになっています。「日本文教出版」は、「学び合おう」で始まって、巻末の対話シートというのを利用して言語活動が円滑に進められるような工夫がされており、班活動などを通して使用できる構成になっていて、非常にいいと思います。
佐野慶子委員	私も「日本文教出版」は、導入の工夫もされていて、基礎的、基本的な問題に重点を置いたうえで、具体から抽象へ、易しい問題から難しい問題へという段階を踏んで丁寧な問題を設定しているところがよいと思います。
西村陽子委員	中学校の数学になると小学校の算数と比べて、とても抽象的・論理的な分野になってきます。そこでつまづいてしまうということも起きがちなわけですが、そういう意味で小学校から中学校への接続というのは、とても大事だと思います。 これについては「日本文教出版」が、1年生の教科書の各章の前に「次の章を学ぶ前に」というページがあって、1ページにわたって、その次の章の準備になるような小学校の学習内容を整理して、計算問題がついていたりして、そういう意味では生徒が理解したうえで、次に進むという工夫がされているのはいいと思います。
佐野慶子委員	私もこの「次の章を学ぶ前に」というのは非常にいいと思います。中学校1年生と小学校の算数のつながりは、3年間数学を学ぼうと非常に大切だと思います。そういう意味でも、「日本文教出版」の1年生の各章の設定は、とてもいいと思います。
吉村文一委員	「日本文教出版」の方程式の導入に使われている図を用いた説明というのは、独特だと思うんですが、現場の先生に聞いたところ、非常に教えやすいという意見もありました。これは、独特で使用しやすいと思います。
山本教育長	これまでの意見をまとめますと、「日本文教出版」の教科用図書の採択が適切であるようですが、ほかに意見はありませんか。
各委員	なし。
山本教育長	それでは、数学についてお諮りします。 ただいまの報告、質疑を踏まえ、中学校数学の教科用図書は、「日本文教出版」の教科用図書を採択することに異議ありませんか。
各委員	異議なし。
山本教育長	それでは、中学校数学の教科用図書は、「日本文教出版」の「中学数学」に決定します。 続きまして、中学校の理科について、審議をお願いします。 各教科書の特徴について、選定委員会からの意見ををお願いします。
教育部長	理科について、説明します。 各社とも学習指導要領の「自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力

	を育成する」ことについて、工夫されています。 「東京書籍」は、巻頭で探究の流れや教科書の使い方などが示されています。単元の配列は、各単元の指導時期や内容の関連性を踏まえた配置になっており、生徒の科学的概念の形成に配慮されています。 「大日本図書」は、巻頭で学習の進め方や教科書の使い方などが示されています。単元の配列は、小学校との関連を重視した配置となっており、観察・実験のしやすい時期、学年による理科室使用の重なりなどに配慮されています。 「学校図書」は、巻頭で理科を学ぶ意義や教科書の使い方などが示されています。単元の配列は、想定する年間指導計画に沿い、系統的に配置をされています。また、あらかじめ余裕のある時間数で計画をされており、探究等に時間を使えるよう配慮されています。 「教育出版」は、巻頭で理科を学ぶ意義や探究の進め方などが示されています。単元の配列は、各単元の指導時期や学習内容のつながりを考慮した配置となっており、地域や学校の実態に応じた指導計画を立てられるように配慮がされています。 「啓林館」では、巻頭で探究の過程や教科書の使い方、また、ICTの活用などが示されています。単元の配列は、同一学年内での単元指導順序の入替えが自由に行えるような配置になっており、2学期制や3学期制にも対応できるように配慮されています。
西村陽子委員	学習指導要領には、「日常生活や社会との関連」ということがありますが、これについて各社の特徴はどうか。
学校教育課長	「東京書籍」は、「社会につながる科学」というコラムを設け、科学の歴史を漫画で示したり、学習内容が現在の社会で応用・利用されているものを掲載されています。 「大日本図書」は、「くらしの中の理科」というコラムが表記をされており、科学が実社会でどのように利用されているか、学習内容に関係するものが掲載されています。 「学校図書」は、各章の初めの問題提起で実社会の中から課題を見つける工夫がされています。 「教育出版」は、「ハローサイエンス」のコラムの中で、実社会と繋がる科学が示されており、自分たちの未来へのつながりを意識させています。 「啓林館」は、巻末の「〇〇ラボ」で科学が実社会とどのように関係しているか、分かるようになっています。
山本教育長	理科を学習するうえで、観察・実験、探究がとても大切だと思いますが、そういう点について、各社の特徴は、どのようになっていますか。
学校教育課長	ご指摘のとおり、探究というところは、大切になってきますが、各社、巻頭や巻末で掲載されています。 「学校図書」は、巻頭、巻末ではなく、章の初めに Can Do List を掲載し、探究について記載されています。 また、観察・実験については、それぞれ特徴があり、「東京書籍」は、手順を示す二次元コードが掲載されています。 「大日本図書」は、実験と観察の内容について、次項に結果の例が来るように掲載されています。 「学校図書」は、気づき・課題・仮説・計画・方法・結果・考察の順で掲載されています。 「教育出版」は、使用する器具の使い方、結果の写真も豊富で確認がしやすくなっています。

	「啓林館」は、「サイエンス資料」として、実験を正しく安全に進めるため、器具、薬品等の取扱い方や非常時の対応も掲載されています。
西村朋恵委員	各社とも器具の説明や手順などを二次元コードからアクセスするサイトで動画等で分かりやすく活用して説明しているのが工夫されていると思いました。
吉村文一委員	「東京書籍」は、実験の学習内容の直前に「予想しよう」が参考にする内容とともに実験内容が書かれており、次ページで実験の結果を扱うといった一連の流れが工夫されています。 「啓林館」は、実験前に、各社とも危険な取扱注意というのは書いてありますが、実験前に非常時の対応が記載されているのが、万が一のときの対応が記載されていて、非常に工夫されている印象を受けました。
西村陽子委員	工夫という意味では、「東京書籍」では、章の初めにステップ1、2、3と探究の方法が載せられていて、見通しが立てやすくなっていると思います。 「啓林館」も実験の方法とかについて、目的、方法、結果、考察と探究する流れを提示しているのが見通しを立てやすくしていると思います。
吉村文一委員	「学校図書」と「啓林館」は、単元の最初にその単元に関係のあるダイナミックな写真が非常にきれいに掲載されていて、特に「啓林館」の人体解剖図は、医学書並みの図が載っています。全体的に子どもたちをやっぱり引きつけるような効果があると思いますので、このようなダイナミックな写真が掲載されているのは、非常にいいと思います。
西村朋恵委員	観察実験に生徒が興味や関心を持って取り組むことが大切だと思いますが、「啓林館」の迫力のある鮮やかな写真やカットは、生徒の学習のモチベーションを高めるのに大変有効だと思います。
西村陽子委員	最近の教科書には、思考ツールがついていますが、「啓林館」は、巻末に「探究シート」というのがついていて、各単元に沿った内容になっているので、非常に扱いやすいと思います。
佐野慶子委員	各教科書とも巻末に理解度に沿った問題が掲載されていますが、「啓林館」は、「みんなで探Qクラブ」というのがあって、単元を通した振り返りになっていて、いろいろ子どもたちの興味を引きつける工夫がされていると思います。
山本教育長	これまでの意見をまとめますと、「啓林館」の教科用図書の採択が適切であるようですが、ほかに意見はありませんか。
各委員	なし。
山本教育長	それでは、理科についてお諮りします。 ただいまの報告、質疑を踏まえ、中学校理科の教科用図書は、「新興出版社啓林館」の教科用図書を採択することに異議ありませんか。
各委員	異議なし。
山本教育長	それでは、中学校理科の教科用図書は、「新興出版社啓林館」の「未来へ広がるサイエンス」に決定します。 次に、中学校音楽（一般）について、審議をお願いします。 各教科書の特徴について、選定委員会からの意見ををお願いします。
教育部長	音楽（一般）について、説明します。 音楽の一般については、教科用図書が2社となっています。 この2社ともに学習指導要領の「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音

	楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する」内容が取り扱われています。 「教育出版」は、表現と鑑賞がバランスよく配置され、「学習MAP」というところで年間の学習内容を関連づけて示されています。 「教育芸術社」も表現と鑑賞がバランスよく配置され、目次とは別に年間の学習内容を俯瞰して見通せるような工夫がされています。
吉村文一委員	中学生は、声変わりの時期でもあって、自分の声の適切な声域や音量が変わっていくということを本人が知り、無理なく歌わせることが大切だと思います。両教科書とも変声について、記述がありますが、特に「教育芸術社」の1年生の「My Voice!」のところは、自分の発声について、より詳しく説明がされていて、非常に分かりやすいと思います。特に1年生は、変声期であって、各自に応じた発声について、自分の歌いやすい音域や歌いやすい歌を歌えるように工夫されているのが非常にいいと思います。この時期に無理をしたら声がかれて出なくなるということもあり得ますので、ここは非常に大切だと思います。
佐野慶子委員	「教育出版」は、混声合唱の内容に絡めて変声に関わる内容が1年生の30ページに掲載されていますが、「教育芸術社」は、「My Voice!」の変声にかかる内容は授業で触れやすくなっていると思います。さらに、「変声期に心がけること」という内容で別枠で書かれているところも生徒にとっては、安心してできる場所だと思います。
西村陽子委員	両教科書とも二次元コードが掲載されていますが、それぞれどのような特徴がありますか。
学校教育課長	両教科書ともにデジタルコンテンツを掲載されていますが、量的に言えば「教育芸術社」のほうが多く、創作やワークシートに分類され、効果的に活用できるとの報告を受けています。
西村朋恵委員	選定委員長、学校教育課長からもありましたが、「音楽づくり」等同じ題材について、「教育芸術社」は、生徒がより取り組みやすくなるよう分かりやすい表現になっているように思います。高等学校等とは違い、全ての生徒が取り組むものですので、こういった配慮はいいと思いました。
佐野慶子委員	「教育出版」では、著作権について、2年生・3年生に著作権に関する情報が載っています。スマートフォン等の普及に伴って、音楽関係の著作権がいろいろ話題になっていると思います。このことについても慎重に扱わないといけないと思います。また、中学校1年生からスマートフォンの所有率も格段に上がると聞いています。そういった点を考えてみますと、「教育芸術社」は、1年生の教科書に載っており、早く指導したほうがいいと思いますので、「教育芸術社」がいいかなと思います。
山本教育長	これまでの意見をまとめますと、「教育芸術社」の教科用図書の採択が適切であるようですが、ほかに意見はありませんか。
各委員	なし。
山本教育長	それでは、音楽（一般）について、お諮りします。 ただいまの質疑、報告を踏まえ、中学校音楽（一般）の教科用図書は、「教育芸術社」の教科用図書を採択することに異議ありませんか。
各委員	異議なし。
山本教育長	それでは、中学校音楽（一般）の教科用図書は、「教育芸術社」の「中学生の音楽」に決定します。 次に、中学校音楽（器楽）について、審議をお願いします。 各教科書の特徴について、選定委員会からの意見をお願いします。

教育部長	音楽（器楽）について、説明します。 音楽の器楽についても、教科用図書が音楽（一般）と同じ２社となっています。 「教育出版」は、各楽器の掲載する順序をカテゴリーごとに配置されていることで楽器の表現の仕方について、特徴を踏まえて共通点や相違点を考えられるよう工夫されています。 「教育芸術社」は、学習指導要領に示された三つの資質・能力に対応する学習内容や教材を見開きで示し、学習が見通せる工夫がされています。
佐野慶子委員	両社とも音楽（一般）の教科書のときにもありましたが、段階を踏んで進んでいけるような構成になっていて、音楽が得意でない生徒でも取り組みやすいように工夫されているところがいいと思いました。
西村朋恵委員	両社とも楽器の手入れについても取り上げられているなど、大切なことが丁寧に扱われているのもいいと思いました。
西村陽子委員	「教育芸術社」には、やっぱり楽器の演奏の細かなコツみたいなことが取り上げられていたり、巻頭のところには、トップアーティストの生徒に対するメッセージが掲載されていて、生徒の心を引きつけて、主体的に学んでいこうというのにつながるなと思います。
吉村文一委員	我が国の伝統的な和楽器の指導についても、それぞれ箏・三味線・和太鼓などが記載されていますが、特に「教育芸術社」は、指導内容が多くて、写真も古典的な演奏のスタイルだけではなく、今風なスタイルで演奏する人たちの写真も載っていて、やってみたいと思うような構成になっていると思います。日本の伝統音楽のよさが味わえるような工夫されていると思います。
山本教育長	これまでの意見をまとめますと、「教育芸術社」の教科用図書の採択が適切であるようですが、ほかに意見はありませんか。
各委員	なし。
山本教育長	それでは、音楽（器楽）について、お諮りします。 ただいまの質疑、報告を踏まえ、中学校音楽（器楽）の教科用図書は、「教育芸術社」の教科用図書を採択することに異議ありませんか。
各委員	異議なし。
山本教育長	それでは、中学校音楽（器楽）の教科用図書は、「教育芸術社」の「中学生の器楽」に決定します。 次に、中学校美術について、審議をお願いします。 各教科書の特徴について、選定委員会からの意見をお願いします。
教育部長	美術について、説明します。 美術についても、各社とも学習指導要領の「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する」工夫がされています。 「開隆堂」は、表紙や見開きに写真を大きく掲載するなど、視覚的に生徒の関心・意欲を高める工夫がされており、多様な美術文化と楽しく出会うことができるよう工夫されています。 「光村図書」は、別冊資料やQRコードにより、多くの資料が用意されており、技能や鑑賞など様々な視点から題材を理解できるよう工夫されています。 「日本文教出版」は、題材の冒頭に鑑賞作品を掲載することで表現との関連が図られており、紙面構成に統一感があるため、各題材の学習の流れが理解できるように工夫されています。

佐野慶子委員	さすが美術の教科書だなと思いました。 「日本文教出版」も本当に工夫され、また、「開隆堂」は、インパクトがあって、何か手で触ってみたい感じがしますし、「光村図書」は、芸術的な絵画が表紙にあり、とても興味をそそりました。
吉村文一委員	美術の教科書は、各社とも単元の始まりに学習の目標が3つの視点ではっきり掲載されているので、学習に入っていきやすいと思います。
西村朋恵委員	美術の授業において大切な想像を働かせるための資料の掲載などについては、各教科書の違いはありますか。
学校教育課長	各社とも違いはありますが、報告では、「日本文教出版」の「瞬間の美しさを形に」という見開きのページがあり、そこには同年代の生徒による作品が非常に多く掲載されています。
佐野慶子委員	「日本文教出版」は、生徒の作品を多く取り上げていて、生徒が作品を作る時にとっても参考になると思いました。一方で、資料の掲載という点では、「光村図書」は、資料が別冊でついていて、鑑賞と技能がわかりやすく分かれていると思います。
西村陽子委員	生徒たちの興味を引くという点からいいますと「光村図書」は、作品も掲載されていますが、東京オリンピックのときによくテレビで見たピクトグラムが掲載されていて、面白いなと思いました。こういうのも生徒の興味関心を引くのではないかなと思います。
西村朋恵委員	「開隆堂」と「日本文教出版」には、発想の手立ての参考として、アーティストの実際の手立てが示されているので、身近でチャレンジしてみようというふうに感じました。「光村図書」の「みんなの工夫」のページでは、生徒のアプローチを見ることができ、作品の作成に役立つと思いました。
吉村文一委員	各社とも日本の文化である浮世絵や水墨画をしっかりと扱っています。特に、掲載している写真ですが、「光村図書」の2・3年用の27ページにある「日本の絵画を楽しむ5つのキーワード」では、ほかのと違って和紙みたいな手触りのものでこだわりも感じられますし、色調にもいいので、日本の伝統が非常に伝わってくるいい教材だと思います。
佐野慶子委員	私も「光村図書」は、表現と鑑賞の題材のバランスがよく配置されていて、鑑賞の資料も学習の手助けになると思っています。
山本教育長	これまでの意見をまとめますと、「光村図書」の教科用図書の採択が適切であるようですが、ほかに意見はありませんか。
各委員	なし。
山本教育長	それでは、美術について、お諮りします。 ただいまの質疑、報告を踏まえ、中学校美術の教科用図書は、「光村図書」の教科用図書を採択することに異議ありませんか。
各委員	異議なし。
山本教育長	それでは、中学校美術の教科用図書は、「光村図書」の「美術」に決定します。 次に、中学校保健体育について、審議をお願いします。 各教科書の特徴について、選定委員会からの意見ををお願いします。
教育部長	保健体育について、説明します。 保健体育についても、各社とも学習指導要領の「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成すること」について、各社工夫が見られます。

	「東京書籍」は、学習の筋道が見える構成に加え、マスコットが学習のヒントを提示するような工夫をしています。 「大日本図書」は、本文と資料が明確に分かれた構成となっており、参照性を高めるつくりとなっています。 「大修館書店」は、図や資料などが豊富に掲載されており、レイアウトが見やすく構成されています。 「学研教育みらい」は、三つのステップ学習の流れに沿って、学習内容の要素が見やすく構成されています。
佐野慶子委員	最近では、特にジェンダーや多様性というのが重視されている時代になってきていると思いますが、性的マイノリティについて、保健体育の教科書ではどのように扱っていますか。
学校教育課長	題材として取り扱っているのは、「東京書籍」は、見開き半分で掲載されています。「学研教育みらい」は、ページの半分で性の多様性のことについて、掲載されています。
吉村文一委員	この項目は、前年度の小学校の採択でも話題になりましたけれども、小学校では、まだ詳細に取り扱うのは時期尚早ではないかという意見が出ていたと思います。しかし、中学校では保健分野の学習内容の中に「思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされること」とあり、「心身の発達と心の健康」について、学習するときには、性的マイノリティについて十分考えさせることは、中学生では、非常に大切なことだと思いますので、内容が充実しているほうがよいのではないかと思います。
西村朋恵委員	L G B Tに加えて、S O G Iという表現も最近増えてきているように思います。「大修館書店」にS O G Iの内容は記載されていますが、S O G Iという表現そのものを扱っているのは、「学研教育みらい」と「東京書籍」に載っています。これからこの表現もよく出てくるのかなと思いました。
佐野慶子委員	「学研教育みらい」は、中学生の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されていると思います。また、図や挿絵などの資料も多く、わかりやすく丁寧に説明していると思います。
西村陽子委員	性の多様性ということに関連するのですが、「学研教育みらい」では、「一人一人の体と心が違うこと」「多様な考え方、感じ方があることを理解することでお互いを尊重した関係を築いていくことができる」と本文に書かれていて、資料で心の距離感・体の距離感を持ちましよう、自分が嫌だと感じたことは嫌だと言ってよいということが具体的に書いています。こういうのは、例えば児童虐待であるとか、そういうところにもこういうことを言っているんだということを教科書で知ることができるのは、大事な事かなと思いました。
西村朋恵委員	図や挿絵の観点からいうと、「大修館書店」は、色合いがはっきりしていて、イラストよりも写真が多く、資料も多い印象でした。
吉村文一委員	違う項目になりますが、中学生になると性感染症も最近増加傾向にあるということで問題にはなっていますが、中学生になるとこの問題点についてももしっかり学習していかなければならないと思います。そういった観点で見ると、どの教科書もほぼ同等に性感染については扱っているので、大きな差はないのかなと思います。 ただし、コロナウイルス、インフルエンザといった感染症に関しては、「大修館」と「東京書籍」は、記載がありますけれども、それ以外は、十分な記載は見当たりませんので、「大修館」と「東京書籍」がわかりやすいと思います。
西村朋恵委員	性感染症の説明に関しては、「東京書籍」がわかりやすいと思いま

	した。今は中学生も当たり前に持っているスマートフォンを使ってSNSからたくさんの情報が得られますが、性に関しては低年齢化していていますので、性感染症に関して、授業で触れて知っておくことは、必要だと思います。
西村陽子委員	今まで性感染症とか性の多様性の話を主にしてきましたが、「東京書籍」の「巻末スキルブック」には、感染症以外にも健康や安全に関する基本的な情報、例えば心肺蘇生法とかがまとめて書かれていますので、ある意味でこの巻末を持っていれば生涯にわたって必要な知識が身につくので、非常にこれはいいのかなと思います。
吉村文一委員	「東京書籍」の医療機関の機能の中で資料1「地域医療システム」という図は、割と正確で非常に正しい図で分かりやすいと思います。「学研」でも「医療機関の利用の仕方」というのが資料1なのですが、これに比べて具体的で「東京書籍」のほうがわかりやすいという感じがしました。
佐野慶子委員	「東京書籍」は、日常生活の中から今のように課題を発見し、確認・解決を広げられるように資料・構成ともの確で人権にも配慮されていると思います。
山本教育長	これまでの意見をまとめますと、「東京書籍」の教科用図書の採択が適切であるようですが、ほかに意見はありませんか。
各委員	なし。
山本教育長	それでは、保健体育について、お諮りします。 ただいまの質疑、報告を踏まえ、中学校保健体育の教科用図書は、「東京書籍」の教科用図書を採択することに異議ありませんか。
各委員	異議なし。
山本教育長	それでは、中学校保健体育の教科用図書は、「東京書籍」の「新しい保健体育」に決定します。 次に、中学校技術・家庭（技術分野）について、審議をお願いします。 各教科書の特徴について、選定委員会からの意見ををお願いします。
教育部長	技術・家庭（技術分野）について、説明します。 各社とも学習指導要領の「技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成すること」について、工夫されています。 「東京書籍」は、各編の最終章には、生徒が技術を評価し、適切に管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良・応用したりするためのワークシートが掲載されています。 「教育図書」は、生徒自身の設計や計画を記入できる「設計・計画シート」「計画・育成シート」が用意されています。 「開隆堂」は、既存の製品を調べて技術の見方を働かせるためのワークシート、問題解決について、技術の見方・考え方を基に振り返るためのワークシートが掲載されています。
佐野慶子委員	学習のしやすさとしては、「東京書籍」は、編の最後に「技術の匠」という活躍している技術者のコラムがあり、生徒の興味を引くものになっています。また、「開隆堂」では、各内容の扉に「小学校との関連」「中学校他教科との関連」も一緒にあり、関連する他教科との学習内容が分かりやすくまとめられていると思います。
西村陽子委員	これからの技術分野では情報を扱うことも多くなってきて、情報セキュリティとか情報モラルというのが非常に大事になってくると思いますが、各社どのように扱われていますか。

学校教育課長	各社ともに情報セキュリティ、情報モラルに関しては、掲載されていますが、「東京書籍」は、「情報セキュリティの仕組み」というところで掲載されています。また、同程度の量で「開隆堂」についても、「情報セキュリティと情報モラル」というところで掲載されています。「教育図書」は、掲載はされていますが、若干少なめで掲載されています。
西村朋恵委員	小学生が当たり前のようにスマートフォンを扱っていますが、危険がいっぱいで、中学生になるとさらにセキュリティを甘くするなど社会との関わりも増えてくるので、情報モラル、個人情報に関しては、「開隆堂」のほうの方がわかりやすい標記に思えました。 また、これからの社会は、情報についての知識や技術を身につけることが大事になっていきます。「教育図書」は、巻末に「夢を叶える技術」として、これまでに学んだ技術の活用でドローンや義肢装具等の製作につながる紹介を掲載しているのがいいと思いました。 また、さらに「開隆堂」は、情報の技術の単元で安心して使えるメッセージ交換アプリや高齢者に使いやすい避難所案内アプリなどの実践例が充実していて、丁寧に扱っているのいいと思います。
佐野慶子委員	「開隆堂」の巻頭にあるドラえものの道具に関する資料は面白くて、生徒たちの興味を引くと思います。
吉村文一委員	主体的・対話的で深い学びに関してですが、この点については、各社とも主体的に調べたり学んだりするための工夫がなされていると思いますが、具体的にお教えいただけますか。
学校教育課長	主体的に生徒が学ぶという観点については、技術の分野でも単に技術について理解し、習得するだけではなく、生活や社会の中から問題を見いだして課題の設定、解決策の構想など問題解決型の学習の過程を踏むということが大切になってきています。 「東京書籍」は、二次元コードをふんだんに活用しながら学びをしていくことの掲載が工夫をされています。 「教育図書」は、導入・図・本文等のレイアウトや文字の色遣いを工夫され、配慮が必要な生徒に対して学習がしやすいように工夫されています。 「開隆堂」は、巻頭に「学習の流れ」で技術分野の学習の流れを理解させ、その後のガイダンスで生活や社会における技術の役割について、理解をさせた後に問題解決の学習形態を徹底して勧めるような形で掲載されています。
西村陽子委員	今、「開隆堂」では、社会における技術の役割を理解させているということを言われました。「開隆堂」では、新しい技術を実際に開発した開発者のインタビューがそれぞれにかなりの分量で出ており、一つのほうは、プログラミングの開発者が中学生だった頃どんな思いでいたかみたいなこともあって、本当に自分もやってみようという生徒の興味とか関心、意欲が湧くような内容だと思います。
山本教育長	これまでの意見をまとめますと、「開隆堂」の教科用図書の採択が適切であるようですが、ほかに意見はありませんか。
各委員	なし。
山本教育長	それでは、技術・家庭（技術分野）について、お諮りします。 ただいまの質疑、報告を踏まえ、中学校技術・家庭（技術分野）の教科用図書は、「開隆堂」の教科用図書を採択することに異議ありませんか。
各委員	異議なし。
山本教育長	それでは、中学校技術・家庭（技術分野）の教科用図書は、「開隆

	堂」の「技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて」に決定します。 次に、中学校技術・家庭（家庭分野）について、審議をお願いします。 各教科書の特徴について、選定委員会からの意見ををお願いします。
教育部長	技術・家庭（家庭分野）について、説明します この分野に関しても、各社とも学習指導要領の「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成すること」について、工夫されています。 「東京書籍」は、ビジュアルで実感を伴う実物大に近い写真や折り込み等の資料が充実しており、興味・関心を促す工夫がされています。 「教育図書」は、巻頭に日本の年中行事と暮らしのつながりを紹介し、学びへの興味・関心を高めながら主体的に学習に取り組めるよう工夫されています。 「開隆堂」は、基本的に見開きで学習内容をまとめることにより、本時の学習目標や学習活動が一覧できることで見通しを持って学習に取り組むことができる配列になっています。
佐野慶子委員	「教育図書」は、イラストや写真、図を多く使って、中学生が効果的に楽しく学べるように工夫されています。 「開隆堂」は、子どもの手形や足形、原寸に近い食品の写真など、意欲が高まる工夫がしてあると思います。
西村朋恵委員	今日、朝食を取らない生徒が増えてきているというようなことをよく耳にすることがありますが、「東京書籍」と「開隆堂」は、「子ども食堂」について取り上げていて、食事の大切さ、特に朝食の大切さを教えるのに適していると思いました。
西村陽子委員	この分野での主体的に学ぶための工夫は、どのようなものがされていますか。
学校教育課長	3社ともに主体的に学ぶ工夫はされています。 「東京書籍」は、多くの実習例が掲載されていて、調理の工夫について自分なりに考えたり工夫するような形で非常に多くのページを割いて掲載がされています。 「教育図書」は、献立を考える際にシールを活用したり、二次元コードのコンテンツで各食品群を計算するなど献立作成に意欲的に取り組めるよう工夫されています。 「開隆堂」は、各ページの最下部に豆知識が掲載されていて、そのページの内容に沿った予備知識を子どもたちが学習することによって意欲が高まるような工夫がされています。
西村朋恵委員	「教育図書」は、イラストや写真が多くて見ていて楽しい構成になっていますが、食文化の単元の料理の写真が他の2社と比べると少し少ないように思いました。
西村陽子委員	写真という点では、「開隆堂」の調理などの技能の部分の写真は詳細かつわかりやすく丁寧に並べられていて、適切な配慮がされていると思います。また、「開隆堂」は、先ほどのお話にあった豆知識が調理のところに載っていますので、家の方が何げなしに行っている調理にはこういう意味があるということを理解できて、深い学びに近づいていくのではないかなと思います。
吉村文一委員	「開隆堂」は、アニサキスという寄生虫の写真が載っていて、私たちの身近にも普通にサバであるとかタラのパックの中に虫がいるのは

	結構あるので、こういうのを知っていれば驚かずに済むというのもあって、こういう写真を載せるというのは、インパクトがあっていると思います。
山本教育長	調理実習や食生活に関して、先生方から様々ご意見をいただきました。 ほかの観点からのご意見ありますか。
西村陽子委員	私は、どうも職業柄、消費生活の分野について、どのように記載されているのかに関心が向くのですが、どの教科書も分量・内容とも充実しており、どれも遜色ないように思いました。 それから、住生活の分野で防災についてもそれぞれ触れられているのですが、「開隆堂」には、避難情報や緊急避難場所についての情報が詳しく具体的に記載されており、最近本当に温暖化で異常気象が続いていますので、これはとてもいいと思いました。
吉村文一委員	「ジェンダー（性別役割分業）」や「ヤングケアラー」について、「開隆堂」が 28 ページと 31 ページで取り上げています。詳しくは書かれていませんが、ヤングケアラーの問題とかの社会問題を掲載し、家族やまわりの人との関わりについて考えるいい機会になるので、「開隆堂」のこの項目は、非常にいいと思います。
山本教育長	これまでの意見をまとめますと、「開隆堂」の教科用図書の採択が適切であるようですが、ほかに意見はありませんか。
各委員	なし。
山本教育長	それでは、技術・家庭（家庭分野）について、お諮りします。 ただいまの質疑、報告を踏まえ、中学校技術・家庭（家庭分野）の教科用図書は、「開隆堂」の教科用図書を採択することに異議ありませんか。
各委員	異議なし。
山本教育長	それでは、中学校技術・家庭（家庭分野）の教科用図書は、「開隆堂」の「技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ」に決定します。 次に、中学校外国語（英語）について、審議をお願いします。 各教科書の特徴について、選定委員会からの意見ををお願いします。
教育部長	外国語（英語）について、説明します。 英語についても、各社とも学習指導要領の「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する」ことについて、工夫をされています。 「東京書籍」は、各単元が「扉」「Part」「Read and Think」「Unit Activity」で構成されており、各「Part」の「Activity」をスモールステップで積み上げ、「Unit Activity」へつなげ、統合的な言語活動として年 3 回の「Stage Activity」が設定されています。 「開隆堂」は、各単元が「とびら」「Scenes」「Tuning in」「Part」「Review and Retell」「Action」で構成をされており、漫画形式で提示された新出表現を 4 技能を通して繰り返し学習することで使い方に慣れさせ、学期末の協働学習「Our Project」に繋げるような構成になっています。 「三省堂」は、各単元が「とびら」「Part」「Side Story」「Small Talk Plus」「Goal Activity」で構成されており、「Goal Activity」に向けて段階的に学びを積み重ね、習得した技能を統合して年 3 回の「Project」によって、総合的な英語力が習得できるよう工夫されてい

	ます。 「教育出版」は、各単元が「扉」「Part」「Task」「Grammar」で構成されており、「Grammar」ページの「How to Use」で文法の解説と整理、対話練習が設定されています。学期末の「Project」では、これまで学んできた知識・技能を活用できるよう工夫されています。 「光村図書」は、各単元が「扉」「Part」「Goal」で構成されており、3年間ひと続きのストーリーを中心に学ぶようになっています。また、ラウンドシステムの授業にも対応できるような構成になっており、スパイラルに学習しながら統合的な活動「You Can Do It!」につながられるよう工夫されています。 「啓林館」は、各単元が「とびら」「Part」「Read / Listen & Think」「Think & Speak / Write」で構成され、各学期末には、技能統合型の言語活動として「Project」が設定されています。ラウンドシステムにも対応しており、スパイラルに学べるよう工夫されています。
佐野慶子委員	本市では、教育課程の特例を受け、小学1年生から英語学習をしているのですが、小学校からの接続を踏まえた工夫は、各社どのようなになっていますか。
学校教育課長	小学校との接続ですが、各社ともに十分に対応をしています。 「東京書籍」は、1年生の前半の単元を小学校との接続期としているため、小学校の内容を振り返ることができます。さらに、パートごとに小学校の内容を掲載されています。 「開隆堂」は、1年生に通常課程に入る前の「Get Ready」で小学校英語を振り返る活動が設定されています。 「三省堂」は、小学校での既習事項が復習できる「Starter」のページがあり、小学校から中学校へのスムーズな連携ができるようになっています。 「教育出版」は、小学校で行ったコミュニケーション活動について重視され、「Springboard」で振り返りができるようになっています。 「光村図書」は、小学校での既習の語彙や表現、文法事項には、桜マークがついており、小学校で学習した内容について意識した効果的に指導ができるような工夫がされています。 「啓林館」は、小学校から中学校への接続をスムーズにするため、中学校1年生のUnit1からUnit5の目標が「聞くこと」「話すこと」を中心に設定されています。
西村陽子委員	やはり小学校との接続については、各社工夫を凝らしていると思いました。 「東京書籍」の1年生の14ページに「Enjoy Communication」というのがあり、小学校で習った単語を使っていろんな問題を解いたりするというのが記載されており、小学校のことを復習しながら中学校の学習にスムーズに入っていくという構成になっているのは大変いいと思いました。
山本教育長	英語の学習というのは、実際に使える英語として、学習内容を身に付けることが大切だと思いますが、この点について、各社、特に工夫をされているようなことがありますか。
学校教育課長	「東京書籍」は、各Unitの「Your Turn」でペアワークやグループワークの活動が用意され、既習事項の活用ができるようになっています。 「三省堂」は、各単元の「Small Talk」のコーナーがあり、トピックに対して、ペアでの即興のやり取りができるようになっています。

	「教育出版」は、単元末の「Activities Plus」では、既習の言語材料を使ってペアでやり取りができるようになっています。 「光村図書」は、既習内容の絵や写真を使って相手に自分の言葉で伝える練習ができます。「You Can Do It!」では、英語を活用できる場面が設定されています。 「啓林館」は、「Enjoy Chatting」のコーナーがあり、ペアやグループでの活動で英語のやり取りができるような工夫がされています。
西村朋恵委員	「啓林館」は、コミュニケーション活動に関しての豊富な教材がやはり魅力的だなと思いました。
吉村文一委員	小学校の英語は、コミュニケーション活動に重きを置いて、なれ親しんでいくのが主でしたが、中学校の英語となると、コミュニケーション活動も大切ですが、英語の文章を書くであるとか、将来の入試であるとか英語検定とかを意識して、単語数を増やす、文法を学ぶといった知識も非常に重要になってきますが、そのあたりについては、どうですか。
西村陽子委員	我々の先祖も英語を一生懸命勉強してもなかなかコミュニケーション活動できないでできてしまっていますが、そういう意味では今の子どもたちは、ペア活動とかグループ活動を通じてそういうのを身につけるといのは、すごく羨ましいなと思うところはあるんですが、やはり将来的に論文を読んだり、いろんな情報を得たりとかするうえでは、単語や文法の知識もすごい重要だと思います。そういう意味では、「東京書籍」は、教科書内の情報量も豊富で、単語数も多くなっている点はいいいと思います。
佐野慶子委員	小学校では、「啓林館」を採用していると思いますが、小学校と中学校で採択する教科書会社が異なることによって影響等はあるのですか。
教育部長	それについては、選定委員会でいろいろ意見がありましたが、各社とも小学校の教科書がどの会社であっても活用しに不都合の出ないよう工夫が十分されており、問題がないのではないかということで選定委員会では、意見がまとまっています。
吉村文一委員	英語力を身につけるには、やはり繰り返し学習が非常に大切になってきます。繰り返し学習によって学習の定着を図ることを考えると家庭学習も含め、主体的に学ぶためのデジタルコンテンツ、二次元コードを使っての学習が大切になってくると思いますが、その辺は各社どのようになっていますか。
学校教育課長	今回の採択については、デジタルコンテンツが非常に大きく影響を受けるのかなと考えています。また、各社ともに授業や家庭学習で本当に活用したいデジタルコンテンツが非常に掲載されています。 ただ、強いて言えば、「東京書籍」は、デジタルコンテンツが他社よりも若干多い印象を受けています。
吉村文一委員	二次元コードが十分活用できるということでしたら、各社とも工夫を凝らして、それほど差はないようですが、今の説明からしたら、文章量・単語量から考えて「東京書籍」が少し充実しているんじゃないかと思います。
山本教育長	これまでの意見をまとめますと、「東京書籍」の教科用図書の採択が適切であるようですが、ほかに意見はありませんか。
各委員	なし。
山本教育長	それでは、外国語（英語）について、お諮りします。 ただいまの質疑、報告を踏まえ、中学校外国語（英語）の教科用図書は、「東京書籍」の教科用図書を採択することに異議ありません

	か。
各委員	異議なし。
山本教育長	それでは、中学校外国語（英語）の教科用図書は、「東京書籍」の「NEW HORIZON English Course」に決定します。 次に、中学校特別の教科道徳について、審議をお願いします。 各教科書の特徴について、選定委員会からの意見ををお願いします。
教育部長	特別の教科道徳について、説明します。 本教科についても、各社とも学習指導要領の「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」ために工夫されています。 「東京書籍」は、狙いとする内容項目がぶれないようにするため、全ての教材の冒頭に学習のテーマが設定をされており、教材末尾の発問と呼応させることで教材の全体を通して道徳的価値の意義について考えを深めることができるよう工夫されています。 「教育出版」は、各教材に設定された導入で学習の見通しを持ち、道徳的価値を意識付けできるよう工夫されており、教材末尾の「学びの道しるべ」により、三つの問いを通して段階的に道徳的価値の意義について、理解を深めることができるよう工夫されています。 「光村図書」は、1時間の学習過程が分かる「てびき」が設けられ、教材を通して何を学ぶのか意識ができるよう工夫されており、課題の設定や中心となる発問により、道徳的価値の意義や意味について、考えを深めることができるよう工夫されています。 「日本文教出版」は、各教材の冒頭に「学びのキーワード」というものを明示し、見通しを持って主体的に学習に臨めるよう工夫されており、教材末尾の「自分にプラスワン」というところの発問を通して、学んだことを前向きに生かし、道徳的価値を自分との関わりで理解できるよう工夫されています。 「学研教育みらい」は、巻頭の「考えを深めるための4つのステップ」のところで、道徳的価値を自分との関わりで理解ができるよう、学びのヒントとして具体的な展開例を示しており、テーマについて、自ら関心を持ち、学びが深められるよう発問が工夫されています。 「あかつき教育図書」は、狙いがぶれないようにするために学習活動がイメージできる授業の流れを意識した発問が設定されており、教材末尾の「自分との対話」では、教材での学びを踏まえて、道徳的価値を主体的に考えられるよう工夫されています。 「日本教科書」は、内容項目「4つの視点」を基に、発達の段階別にテーマを設けており、道徳的価値の理解のために、巻末の「ウェルビーイングカード」というものを活用し、自分との関わりについて考えられるよう工夫されています。
西村陽子委員	発問例の量とか記載の仕方について、各社違いがあるようですが、それぞれどのような狙いや特徴があるのか教えて下さい。
学校教育課長	特別の教科道徳の授業については、「考え、議論する道徳」ということがキーワードになってきます。各社の掲載する発問例は、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、話し合い、意見交換を促す工夫がされています。 「東京書籍」は、「考えよう」「見つめよう」とさらに深める「ぐっと深める」問いが用意されていて、さらに考えを深める設問が用意されています。

	「教育出版」は、「道しるべ」というところで順序立てた3問の問いが設定されています。 「光村図書」は、各教材に2つの質問のほか、多面的・多角的に広く考える「見方を変えて」「つなげよう」という呼びかけが提示されています。 「日本文教出版」は、各教材に「考えよう」「深めよう」の2つの設問が設定され、さらに、「道徳ノート」には、「自分にプラスワン」という問いで他者の意見を聞いたうえで、さらに自分の意見を深く考える設問が用意されています。 「学研教育みらい」は、各教材に「考えよう・深めよう」の2設問が設定されています。 「あかつき教育図書」は、「考え方」「さらに深める考え」と「まい・プラス」が各学年3回あり、学びを深めるユニットとして設定されています。 「日本教科書」は、「考えよう」「深めよう」の2設問が掲載されています。 発問例が多いとその発問に沿った展開にしばられて、話し合いを通して考えを深めるまでに至らず、生徒が発問に対する考えを発表するまでに留まるということが懸念されるところです。 逆に発問例が少ないと生徒が考え、話し合い、意見交換を活発にできるような問いかけをするために、しっかりと資料の読み込み、教材研究をすることが教員としては、必要となってくるところです。
吉村文一委員	最近ではベテランの先生が退職されて、若い教員の先生も増えてきているということですので、先ほどみたいに発問にしばられ、話し合いをしていっても結局何も決まらないというのが非常に問題になるので、強いて言えば、そういう点では、主題を明示して主要な発問例が記載されている、例えば「日本文教出版」のように学びのキーワードをはっきりと明示している教科書のほうが若い先生方でも指導しやすいと思います。
西村朋恵委員	道徳ノートについても、これは「日本文教出版」の別冊の分ですが、家庭との連携や成績の資料として、より使いやすいものになっているようで継続使用でよいのかなと思いました。
佐野慶子委員	二人の委員からもノートの種類についてありましたが、経験の浅い先生にとっては使いやすいものだと思いますし、使いにくいなどと否定的な意見が少ないということでしたら、生徒が慣れているといった点でもいいかなと思います。
山本教育長	各社の取り上げている具体的な教材のテーマに関するそれぞれ特色について、意見はありませんか。
西村朋恵委員	特色というところで、スマートフォンの普及やSNSなど生徒にとって身近な現代的な課題として、情報モラルが挙げられると思います。最近では、中学生のスマートフォンの所持率がかなり高くなっていると聞きます。LINEをはじめとするSNSの普及によって、インターネットを悪用した誹謗中傷などいじめやお友達とのトラブルが教員の見えないところで進むことが多いと聞きます。そういった情報モラルに関して、各社においてどのような扱いをされていますか。
学校教育課長	現代的な課題で情報モラルに関して、各社ともに取扱いされています。ただ、その中で比較的多く取扱いがされているのは、「東京書籍」「日本文教出版」「学研教育みらい」「日本教科書」となっています。 「東京書籍」は、グラフや漫画などを活用し、様々な角度から考え

	る教材となっています。また、「プラス」というコーナーがあり、考えをより深める工夫もされています。 「日本文教出版」は、教材とコラムを組み合わせる工夫がされています。 「学研教育みらい」は、情報モラルの教材が発達段階に応じて設定されています。
佐野慶子委員	スマホやSNSが普及している今日の社会ですから、生徒たちにとっても情報モラルを身近な問題として学ぶ機会はとても大事だと思っています。 最近では、SNSなどのトラブルも要因の一つとなって中学生が自ら命を絶つなど痛ましい報道もあります。道徳の内容項目「生命の尊さ」について、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない命を尊重することとあります。 各社において、生命尊重の観点については、どのような扱いになっていますか。
学校教育課長	各社、「生命の尊さ」について考える教材については、深く考えることができる教材を設け、充実させています。 「東京書籍」は、「生命の尊さ」を考える教材を複数の教材で組み合わせた「いのちを考える」というユニットを作られて、命について重点的に考えるような配列の工夫がされています。 「教育出版」は、「いのちをかがやかせる」というユニットで複数教材で考える工夫がされています。 そのほか、「学研教育みらい」も、複数教材を組み合わせ、生命について深く考えるような配列の工夫がされています。
西村朋恵委員	道徳において、「生命の尊さ」について考えることは、とても重要であると考えます。また、道徳科におけるいじめの問題の解決に向けた学びの充実は、特に大切だと考えます。 いじめについては、いじめる側が悪いということや人権的なことが充実しているものが多いと考えられますが、各社「いじめ」に関する教材は、どのように扱われているのですか。
学校教育課長	各社とも取扱いはありますが、7社の教科書のうち、6社の教科書がいじめを取り扱うユニットとして掲載されています。中でもユニットとして充実しているのが「日本文教出版」です。いじめが起きやすいとされている年度の初めの時期にいじめ教材を設定し、複数教材からなるユニットをさらに複数回設定しており、非常に多くいじめについて、学ぶことが充実していると思います。
吉村文一委員	今の説明のように「日本文教出版」のいじめについての丁寧な記載については、前回の教科書同様、今回の教科書についても丁寧に記載されていると思います。
西村陽子委員	前回もいじめをよく扱っているということで「日本文教出版」に採択されたと思いますが、今、説明があったように、量的にも非常にたくさん取り上げていますし、いじめは絶対駄目だということに加えて、1年生の34、35ページにいじめの構造、いじめが悪化する状況についての分析も説明されています。あるいは、いじめをしないような考え方の変え方とかコミュニケーションの方法などいじめと向き合っていくに際して、具体的に役立つ教材も充実しているのがあると思います。
山本教育長	これまでの意見をまとめますと、「日本文教出版」の教科用図書の採択が適切であるようですが、ほかに意見はありませんか。
各委員	なし。

山本教育長	それでは、特別の教科道徳について、お諮りします。 ただいまの質疑、報告を踏まえ、中学校特別の教科道徳の教科用図書は、「日本文教出版」の教科用図書を採択することに異議ありませんか。																																
各委員	異議なし。																																
山本教育長	それでは、中学校特別の教科道徳の教科用図書は、「日本文教出版」の「中学道徳 あすを生きる／道徳ノート」に決定します。 以上で、中学校の全種目を決定しました。 確認します。 <table border="0"> <tr> <td>中学校国語</td><td>「東京書籍」新編 新しい国語</td></tr> <tr> <td>中学校書写</td><td>「東京書籍」新編 新しい書写</td></tr> <tr> <td>中学校社会 地理的分野</td><td>「帝国書院」社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土</td></tr> <tr> <td>中学校地図</td><td>「帝国書院」中学校社会科地図</td></tr> <tr> <td>中学校社会 歴史的分野</td><td>「帝国書院」社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き</td></tr> <tr> <td>中学校社会 公民的分野</td><td>「日本文教出版」中学社会 公民的分野</td></tr> <tr> <td>中学校数学</td><td>「日本文教出版」中学数学</td></tr> <tr> <td>中学校理科</td><td>「新興出版社啓林館」 未来へひろがるサイエンス</td></tr> <tr> <td>中学校音楽（一般）</td><td>「教育芸術社」中学生の音楽</td></tr> <tr> <td>中学校音楽（器楽合奏）</td><td>「教育芸術社」中学生の器楽</td></tr> <tr> <td>中学校美術</td><td>「光村図書」美術</td></tr> <tr> <td>中学校保健体育</td><td>「東京書籍」新編 新しい保健体育</td></tr> <tr> <td>中学校技術家庭 技術分野</td><td>「開隆堂」技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて</td></tr> <tr> <td>中学校技術家庭 家庭分野</td><td>「開隆堂」技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ</td></tr> <tr> <td>中学校外国語（英語）</td><td>「東京書籍」 NEW HORIZON English Course</td></tr> <tr> <td>中学校特別の教科道徳</td><td>「日本文教出版」 中学道徳 あすを生きる／道徳ノート</td></tr> </table> 以上が令和7年度使用中学校教科用図書となりました。 これにて、議案第2号「令和7年度使用高石市立中学校教科用図書採択について」を終了します。 長時間にわたるご議論、ありがとうございました。	中学校国語	「東京書籍」新編 新しい国語	中学校書写	「東京書籍」新編 新しい書写	中学校社会 地理的分野	「帝国書院」社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	中学校地図	「帝国書院」中学校社会科地図	中学校社会 歴史的分野	「帝国書院」社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	中学校社会 公民的分野	「日本文教出版」中学社会 公民的分野	中学校数学	「日本文教出版」中学数学	中学校理科	「新興出版社啓林館」 未来へひろがるサイエンス	中学校音楽（一般）	「教育芸術社」中学生の音楽	中学校音楽（器楽合奏）	「教育芸術社」中学生の器楽	中学校美術	「光村図書」美術	中学校保健体育	「東京書籍」新編 新しい保健体育	中学校技術家庭 技術分野	「開隆堂」技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	中学校技術家庭 家庭分野	「開隆堂」技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	中学校外国語（英語）	「東京書籍」 NEW HORIZON English Course	中学校特別の教科道徳	「日本文教出版」 中学道徳 あすを生きる／道徳ノート
中学校国語	「東京書籍」新編 新しい国語																																
中学校書写	「東京書籍」新編 新しい書写																																
中学校社会 地理的分野	「帝国書院」社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土																																
中学校地図	「帝国書院」中学校社会科地図																																
中学校社会 歴史的分野	「帝国書院」社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き																																
中学校社会 公民的分野	「日本文教出版」中学社会 公民的分野																																
中学校数学	「日本文教出版」中学数学																																
中学校理科	「新興出版社啓林館」 未来へひろがるサイエンス																																
中学校音楽（一般）	「教育芸術社」中学生の音楽																																
中学校音楽（器楽合奏）	「教育芸術社」中学生の器楽																																
中学校美術	「光村図書」美術																																
中学校保健体育	「東京書籍」新編 新しい保健体育																																
中学校技術家庭 技術分野	「開隆堂」技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて																																
中学校技術家庭 家庭分野	「開隆堂」技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ																																
中学校外国語（英語）	「東京書籍」 NEW HORIZON English Course																																
中学校特別の教科道徳	「日本文教出版」 中学道徳 あすを生きる／道徳ノート																																